

読んでみよう 解いてみよう
せん太のワークシート

美咲町立加美小の6年生が、地元の特産品を使った「美咲プリン」を考案しました。記事を読み、質問に答えましょう。



「美咲プリン」を試食する児童ら

加美小6年生考案

美咲町原田、加美小の6年生が町産卵を使用し、町特産のピオーネのソースをかけた「美咲プリン」を考案した。地元レストランが商品化に協力し、町物産センター（原田）で19日に限り販売される。（上野俊樹）

美咲プリン

おいしいよ

総合学習で地域の魅力や課題を学ぶ中、町内を訪れる観光客が年々減少していることに着目。古里の活性化に向け、自分たちにも何かできないか」と意見を出し合い、新たな特産品作りを目指すことにした。

プリン、クッキー、スィートポテト、卵ボーロの4種類の企画書を作

特産ピオーネでソース 19日販売

製造を請け負うレストランまきばの館（北の宮田美也江店長らが4日、試作品を持って来校し試食会が開かれた。児童たちは「ソースはジャム状の方がいいかも」もう少し酸味があってもいいかな」などと話し合っていた。

児童の意見を基に改良を重ね、19日に百個程度を販売する予定。値段は調整中という。

石原海琴さん（11）は「いろんな場所で売ってもらいたい、町のPRにつながるばうれしい」とにっこり。町物産センターの鈴木喜久さん（52）は「プリン以外のアイデアについても商品化を検討していく」と話している。

成。各種類のプレゼンテーションビデオを作製し、企画書を添えて町産業観光課と物産センターに売り込んだところ、第1弾としてプリンの商品化が決まった。

9日付、山陽新聞朝刊作州ワイド版

Q1 ★★☆☆

「美咲プリン」はどのような特徴のプリンですか。第1段落（リード）や見出しを参考に答えましょう。

Q2 ★★☆☆

加美小6年生は、なぜ美咲プリンを考案したのでしょうか。プリンの商品化するために、どのような方法で売り込みましたか。第2、3段落を読み答えましょう。

Q3 ★★☆☆

皆さんが住む町を活性化させるために、新たな特産品のアイデアを考えましょう。

★の数は問題の難易度を表しています。



とってもおいしそう！
 ぼくも食べてみたいな。